



2月 わんぱくだより

2021. 2. 1 瑞江わんぱく保育園

暦のうえでは「春」を迎えますが、まだまだ寒い日が続いています。今年度も残り2ヶ月を切りました。一回り、二回り大きく成長している子どもたち。小さな身体で色々なことを考えているのびと日々感じます。例えば、子どもが何かやっている時、手こぎっている姿を見るとすぐに手伝わせてあげてくはるので、ぐっと我慢し様子を見ると、言動や音程誤っている姿が…。そこにはまだ「自分で」という様子は思ひがあり、考えたりして「できたい」という訴えがありまは。すぐに何でもやってあげるのはよくないです。子どもが考える時間を保障してあげたいと思います。

※ 2月の予定 ※

- ・ 3日 節分会
- ・ 22日 身体測定
- ・ 24日 避難経路川糸東
0歳児保健診 16:00~
- ・ 27日 わんぱく会



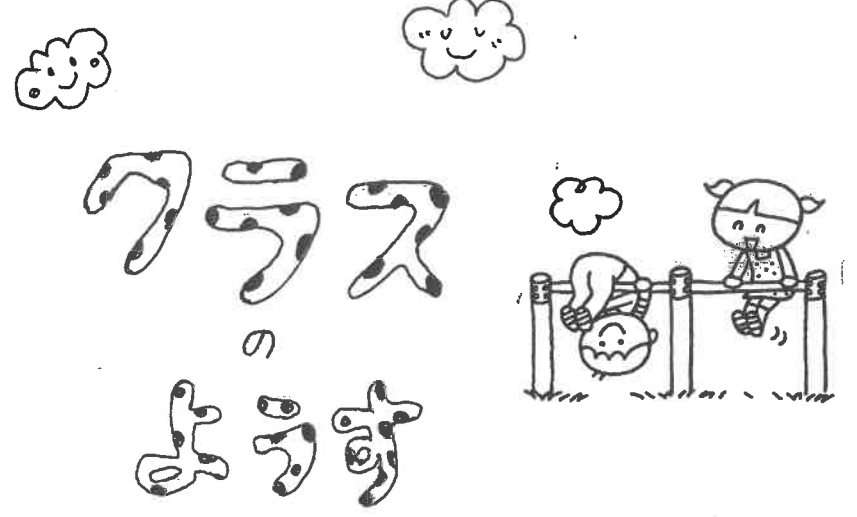
今日のうたと手あそび

豆まき

鬼のパンツ



自分でやりたい気持ちが育ってきている子ども達。服や靴の着脱も「自分で」と意図的に行っています。時々ズボンが裏返しになっていることもあり、これは子ども達が「自分で」と頑張り、証。結果ではなく、自分で頑張っている。その過程を認めていきたいと思ひます。
保育室には磁石のおもちゃが仲間入り。棒状の物と球体の物を繋げてマイクに見立ててよく歌っています。「ありの〜まの〜」がゲーム。どこからとらえ開いてきます。毎日愉快はこぐま組です。



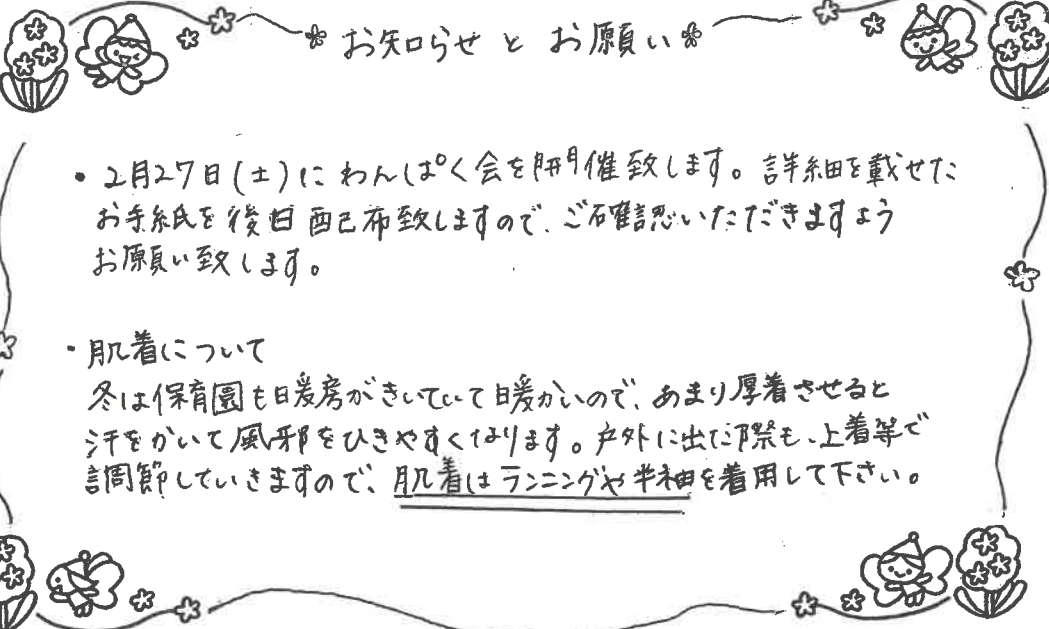
フラスのようす



最近の洋服のおおだちは、自分の洋服や靴をしっかりと「分かっていて、お着替えの時や夕に夕に自分で出ること出来てきました。こどもたちの成長があとというまで、日々驚くことばかりです。また月齢の高い子もお着替えの手をたいて歩いてみたり、月齢の高い子は公園の遊具に盛んに登ったりとイキガキとついてきました。お外も寒い日が続くので、イキガキも取り入れ身体を温められたらと「いいよ」♡



寒さが一段と増す時期となりました。寒いので、なんのその！「毎日元気がいいに聞こえています。外に出るとすぐに「先生さう！」「おーいどんだよ」とたくさん体を動かしているこあら組さん。最近、かくもんぼせ、だるまこまこらんだ、等簡単なルールのある遊びもゲームでみんな盛りにから楽しんでます。室内でも子ども達同士のやりとりが盛んで、こらこ遊びも子ども達だけで成り立つようになってきました。お医者さんご、こでは「次の患者さんどうぞ〜」「お腹が痛いです」「注射します」等、やりとりにはまっています。瑞江わんぱく保育園で過ごす日も残り2ヶ月を切りました。1日1日を大切に、今日もおもしろい一日を過ごしていきたいと思ひます。



* お知らせとお願ひ *

- ・ 2月27日(土)にわんぱく会を開催します。詳細を載せてお手紙を後日西に布致しますので、ご確認お願いいたします。
- ・ 肌着について
冬は保育園も日差がきいて日差かいので、あまり厚着させると汗をかいて風邪をひきやすくなります。戸外に出た際も、上着等で調節していきますので、肌着はランニングや半袖を着用して下さい。